

令和3年度第4回亀岡市環境基本計画推進会議

- 開催日時 令和4年1月27日（木） 午後2時00分～午後4時00分
- 開催場所 亀岡市役所 別館3階 会議室
- 出席者 田部会長、豊田委員、荒木委員、山内委員、井上委員、奥村委員  
三間委員、兒嶋委員、村山委員、中川委員、川口委員、太田委員  
多胡委員、高橋委員、山内幹事  
(事務局5名)
- 欠席者 加藤副会長、芦刈委員、山脇委員、原田委員

1 会長挨拶

2 協議事項

第3次亀岡市環境基本計画素案について

意見・質問	回答
2頁の上から6行目に「経過点」とあるが、「通過点」ではないか。「経過点」という言葉は適切でないと思う。	適切な表現に修正する。
2頁の(3)の2段落目の主語が抜けている気がする。	「国は、令和2年10月に」という表現に修正する。
12頁の環境像の文言を表紙に入れてはどうか。	表紙に入れるよう修正する。
16～21頁に「関連するSDGs」とあるが、それ以外の頁は「関連するSDGs17のゴール」となっている。何か違いがあるのか。	「関連するSDGs17のゴール」に統一する。
19・55・58頁にあるHOZUBAGについて、「新たな雇用の創出など好循環を生み出しています。」とあるが、新たな雇用は創出されていないのではないか。	HOZUBAGの素材を作る部分については、一般社団法人きりぶえが千歳町に拠点を作り、雇用されていることを確認している。
32・48・73頁では、河川による海洋汚染対策について書かれているが、市の中心を流れる保津川の内容ばかりではないか。1級河川であれば、東別院町や西別院町からも大阪湾へ流れている。今年4月に安威川ダムが完成することなの	御指摘とおり、安威川ダムから淀川へ繋がりが、保津川と同様に大阪湾へ流れていくことから、1級河川である神崎川も含め、共通認識の下で取り組みたい。

<p>で、東別院町や西別院町からも大阪へごみが行って行かないよう亀岡市として取り組んでほしい。</p>	
<p>36 頁の廃棄物の適正処理について、焼却物に水銀含有廃棄物が混ざると、煙突から水銀が出たり、リチウムイオン電池が埋立処分場に入ると、水と反応して火を出すことがあることから、「具体的施策と取組内容」に、水銀含有廃棄物の分別を市民に啓発することや、リチウムイオン電池の入ったものは小型家電の回収に力を入れていくといった取組を記載してはどうか。</p>	<p>水銀やリチウムイオン電池以外にも排出されると困るものが多いため、廃棄物処理計画で整理したい。</p>
<p>37 頁のごみの資源化・減量化の取組目標について、ごみ総排出量を減らし、資源化を高めるとのことだが、施策を見ても新たな資源化や減量化の取組は無いように思う。何か新しい取組を検討中であれば教えてほしい。</p>	<p>ごみの資源化・減量については、適切な分別をお願いしても、うまく分別されないこともあることから、来年度にごみ処理基本計画を見直し、ごみの分別が分かりやすく、出しやすいシステムを考えたいと思っている。出たごみについては、廃棄物を資源化物として扱う事業者も増えてきていることから、そういった事業者を活用してごみを減らしていきたい。次年度以降は、自治会や企業へ出向き、廃棄物の現状と分別・減量について協力をお願いしたいと考えている。</p>
<p>資源循環型社会について、分別するのが当たり前との前提で進めていくことは大事であるが、高齢者世帯ではごみの分別がしんどい、ごみを出しに行く場所へ歩いていくことが大変など、出したくても出せないしんどさがあると聞かすが、そういった情報は把握しているのか。また、サポートする施策はあるのか。</p>	<p>御指摘の点については事実であり、市への問い合わせもあることから、そういった方を対象として収集・分別の実証実験を行っている。廃棄物担当課では収集はできるものの、分別を行うことは難しいことから、福祉部局と連携し、対象者を絞りながらサービスを広める計画をしている。</p>
<p>高齢者の方で、毎回ごみ出しをしたいが、捨てに行くのが大変とのことでお手伝いをしている。プラスチックごみは玄関先に出してもらえが、生ごみは遠慮されているようである。生ごみを肥料にしたり、生ごみに対して手軽に取り組</p>	<p>生ごみについては、堆肥や燃料などの資源としての側面もあることから、これからどのようにしていくのが課題であると認識している。</p>

<p>めることがあればよいと思う。生ごみ処理機に対する市の補助もあるが、生ごみ処理機自体が高価である。</p>	
<p>50 頁にある水田からのメタンの発生量を削減する農法の実践とあるが、具体的な農法が確立されているのか。</p>	<p>稲作では、土壌中の酸素を取り込みやすくするように水田の水を落とす中干しがある。中干しをすることで、土壌中のメタンの発生を抑制することができる。</p> <p>また、稲刈り後、稲わらがそのまま残っていると分解が遅れ、田植えの際に固形物として残り、メタンが発生することとなるが、稲刈り後の稲わらを早期に鋤き込むことによって、土壌中での分解を促し、メタンの発生を抑制する果がある。</p>
<p>51 頁の写真については、空白を埋めるために載せているように思えるので、関連する写真の方がよいのではないか。</p>	<p>施策分野である「自然との共生」に関連するものとして、本市を代表するシンボルの写真を掲載している。</p>
<p>62 頁のかめきたサンガ広場の写真は、当該頁のリユース食器の意味合いを兼ねたものだと思うが、実際のエコマルシェの写真を使った方が説得力がある。</p>	<p>御指摘のとおり写真を差し替える。</p>
<p>63 頁の「多文化共生の意識醸成」や「多言語での情報発信」の主体が分かり難い。</p>	<p>市の計画であることから、主な主体は市となるものの、市民や事業者も取り組むこととなる。</p>
<p>65 頁の「3 計画の評価・検証」について、誰が行うのかを具体的に書いてはどうか。</p>	<p>御指摘のとおり修正する。</p>
<p>環境基本計画とは別に環境白書があるが、環境白書を用いて、環境基本計画の進行管理を整備できないか。</p>	<p>環境白書については、3 年ごとに見直しを行い、それ以外の年はデータを更新している。環境白書のデータとも照らし合わせながら、進行管理で活用できるかどうか検討したい。</p>
<p>以前の資料では、全ての成果指標が載っていたが、ここでは「主な成果指標」となって抜粋されている。全ての指標を知りたいときはどこで確認できるのか。</p>	<p>計画では主な成果指標としているため、その他の指標については、進行管理の中で示したい。</p>
<p>SDGs の 17 のアイコンの下には 169 のターゲットがあるが、各施策がどのターゲットに繋がるのかが必要ではないか。SDGs は世界をターゲットにしているの</p>	<p>環境基本計画の各施策については、SDGs の国際的な基準とそぐわない部分もあると思われることから、今後の進行管理の中で検討したい。</p>

<p>で、施策には合わないと思うが、世界を地域や亀岡に置き換えれば、理解できるものもあるのではないか。</p>	
---	--

<p>主な意見</p>	
<p>42 頁のエコウォーカーキッズ・チャレンジプログラムについて、子ども達のごみ拾いの際に言っていることは、ごみが捨てられて生きものがわかわいそう、お魚がわかわいそうといった言葉だと聞いています。施策の取組内容には「清潔で快適なまちづくりへの想いを醸成します。」となっているが、子ども達には清潔や快適という概念はまだないと思う。</p>	
<p>63 頁の「多文化共生における環境啓発の推進」の関連として、市内に多言語で情報発信をしているポスターを見かけるが、標題が日本語になっている。外国の方からすれば、標題が日本語になっている時点で見ないとのことなので、情報発信する場合は、外国の方を取り込んで考えた方がよいと思う。</p>	
<p>73 頁の主要山岳・主要河川の図で、桂川を示す曲線が一貫した曲線でなく、違和感があるので修正してほしい。</p>	

### 3 閉会